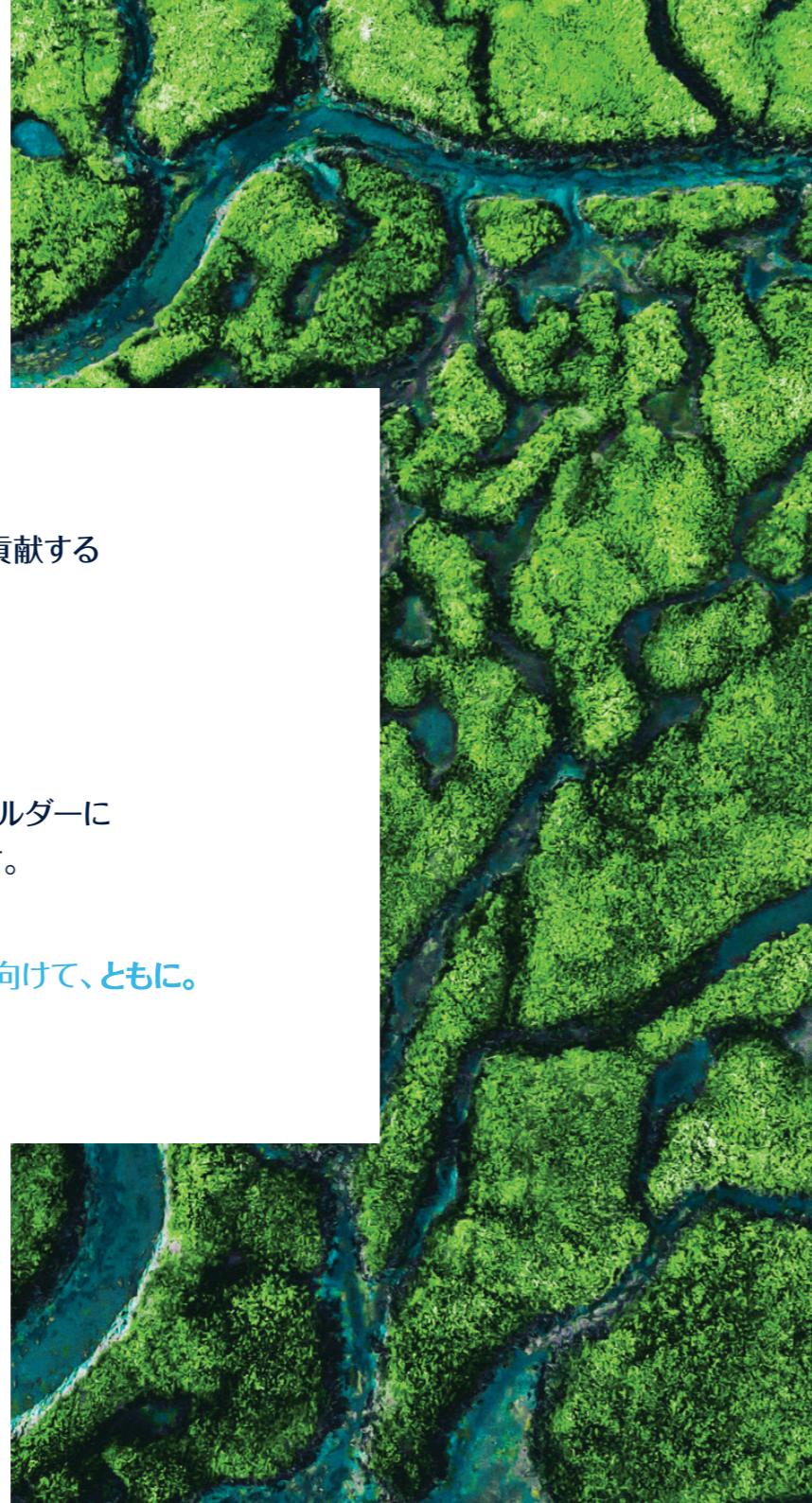


# サステナビリティ憲章

STの取り組みと長期目標





STは、持続可能な世界に貢献する  
テクノロジーを創出します。

STは、人々と地球環境を  
最優先に考えています。

STは、あらゆるステークホルダーに  
長期的な価値を創出します。

**持続可能な世界の実現に向けて、ともに。**



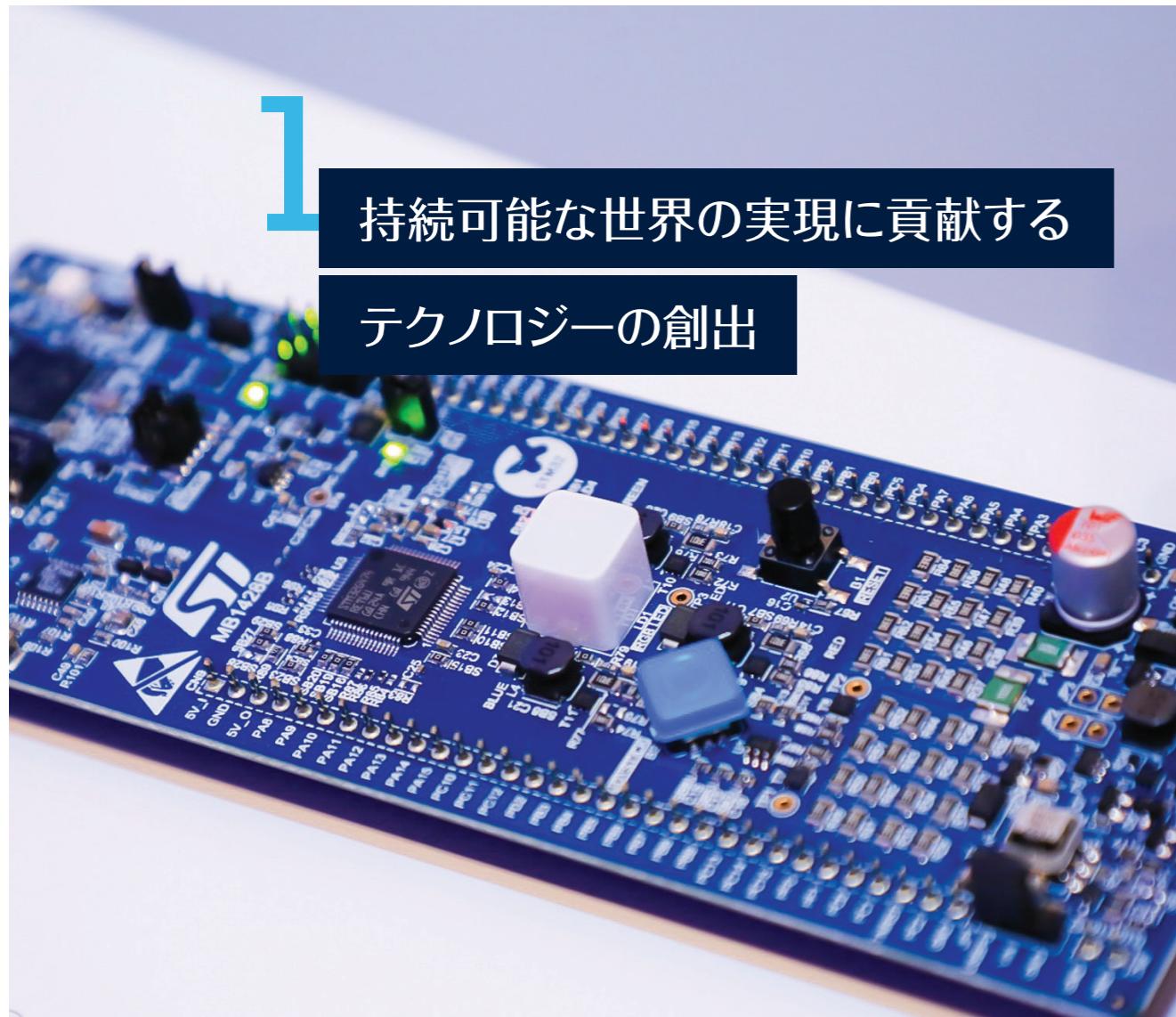
STにとって、サステナビリティへの取り組みはDNAの一部です。そして、あらゆるステークホルダー、人々、コミュニティ、社会全体に対する価値提案の中心です。STは過去25年間にわたり、あらゆる主要なサステナビリティ指標において着実に成果を上げてきました。今後もサステナビリティに向けた活動をさらに加速させ、2027年までのカーボン・ニュートラル実現、ならびに再生可能エネルギー使用率100%達成という目標に向けて取り組みを強化していきます。

テクノロジーは、人々の暮らしをより豊かにするために生み出されます。STは、お客様が現在および将来の人々の暮らしをより豊かにするために必要な半導体ソリューションを提供します。また、STが生み出すイノベーションが、地球環境、社会、および社会的課題の解決に貢献するものであると信じています。

サステナビリティ憲章では、STの主要な取り組みや、STの事業活動における基本原則、今後数年間に向けた主要な目標が紹介されています。サステナビリティ憲章は、世界各地域すべてのオフィスや製造拠点を対象とし、設計や製造、材料調達から廃棄まで、あらゆるプロセスに適用されます。STは、お客様やパートナー、サプライヤ、従業員、および主要なサステナビリティ団体と協力して取り組むことで、より大きな成果をあげることができると信じています。

持続可能な世界の実現に向けて、ともに。

ジャン・マーク・シェリー  
STマイクロエレクトロニクス 社長 兼 最高経営責任者



STの取り組みと  
2021年～2027年のサステナビリティ・ゴール(SG)



“

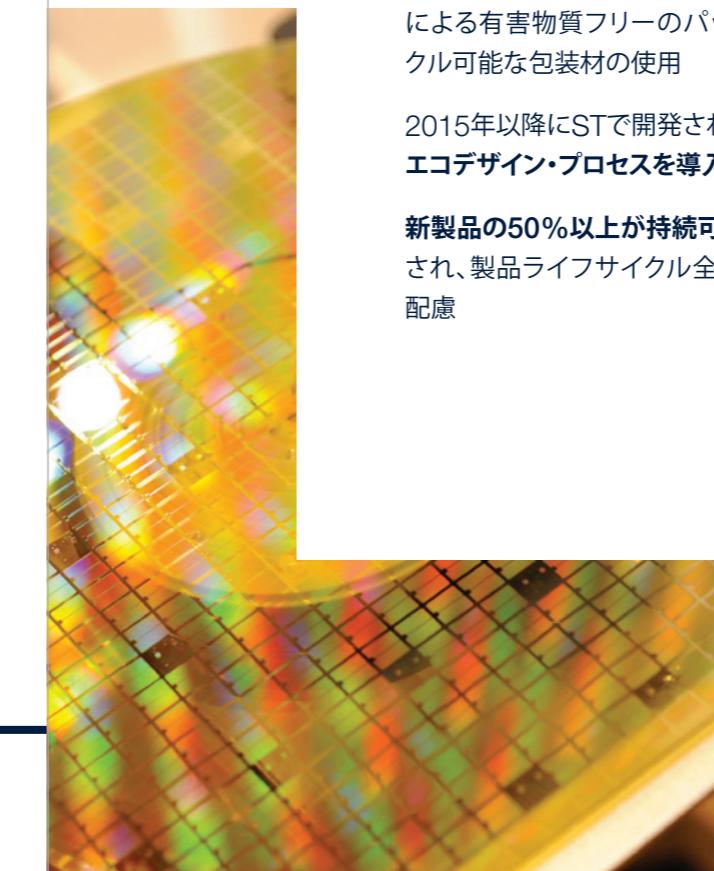
STは、責任あるアプリケーションを実現するテクノロジーの開発者であり、製造者です。より安全で環境に優しく、スマートな暮らしの実現に貢献します。

#### 責任ある製品・テクノロジーの設計

**責任ある鉱物調達戦略の実施、ECOPACK®プログラムによる有害物質フリーのパッケージ開発、100%リサイクル可能な包装材の使用**

2015年以降にSTで開発された全製品にエコデザイン・プロセスを導入

新製品の50%以上が持続可能なテクノロジーとして認定され、製品ライフサイクル全体を通して環境への影響に配慮



**SG1**  
2025年までに新製品ラインの売上比率20%以上を達成

**SG2**  
2027年までに持続可能なテクノロジーを活用した、先進的な責任ある製品の売上比率33%以上を達成





“

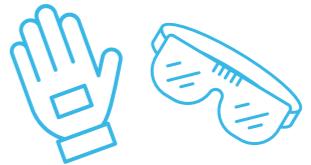
STは、人々の安全衛生を最優先に考えています。業務上の事故や疾患に対するリスク排除を徹底し、あらゆる人々のウェルビーイング実現に向けて積極的な取り組みを行っています。

#### 安全、健康 ウェルビーイングの実現

STヘルスプランをはじめ、**従業員の健康およびウェルビーイング増進プログラム**を全拠点に展開し、心理社会的リスクに対する支援や予防を実施

**高度な人間工学に基づく、働きやすい労働環境の実現**

**継続的な改善や注意喚起、安全な行動、積極的なエンゲージメントの強化**



#### SG3

業務上疾患および事故の発生率0.15%以下を2025年までに達成(契約社員含む)



&lt;2%



“ STは、人権尊重を推進し、その模範となるよう努めています。また、人々を活性化させるとともに、事業を展開する地域社会とのつながりを強化していきます。



### 人権尊重と 地域活性化に向けた取り組み

強制労働を断固許容せず、**労働基本権および人権の尊重にコミット**

**STで働くすべての人々が敬意と尊厳を持った処遇を受けられるよう、賃金を含め公平かつ安全な労働環境を提供**

**職場文化を強化し、労働における生活の質や能力開発の機会において最高の従業員体験を提供**

事業を展開しているすべての国 / 地域で学校教育をサポートする**未来に向けた取り組み**を実施

従業員に対し、サステナビリティや社会福祉、教育、経済発展に関する地域的な取り組みの**企画・参加を推奨**

#### SG5

社会的責任に関して、外部の国際機関に認められたST製造拠点の割合100%を2025年までに達成



#### SG6

2025年までに、20ヶ国でSTEM\*1パートナーシップを展開するための取り組みに従業員を参加させる



“ STは、ダイバーシティがイノベーションやステークホルダー・エンゲージメント、従業員とSTの成功につながると信じています。

### 多様かつ包摂的な労働環境の実現

#### 差別を断固として容認しない姿勢の徹底

ジェンダー、障がい、国籍を問わず、社会と人材市場を反映した**多様な人材を採用・維持**



人材育成、キャリア機会、および報酬の**平等性を確保**

すべての人を尊重し、偏見やステレオタイプに左右されない**包摂的な企業文化の醸成**



\*1 - STEM : 科学・技術・工学・数学



“

STは、カーボン・ニュートラルの実現に向けた取り組みを行っています。パートナーと緊迫感を共有し革新的な方法で事業活動を行っています。



### 事業活動により排出される あらゆる温室効果ガスの削減

COP21で合意された「パリ協定1.5°C目標」に準拠するため、2025年までに排出量50%削減(2018年比)を中間目標として設定。技術的に可能な限り、**直接排出量を継続的に削減**。

#### 再生可能エネルギー使用率の向上

- ・太陽光発電設備の活用
- ・グリーン電力購入契約
- ・グリーン電力証書の購入

責任あるソリューションの展開により、ロジスティクス、出張、通勤などの輸送手段による**排出量を最少化**

森林再生や補償プログラムにより削減できなかった排出量を**2027年までに相殺**

適切な処理装置を使用し、排出される空気による**大気汚染の影響を最小化**

#### SG9

直接的 / 間接的排出における  
カーボン・ニュートラルを  
2027年までに達成(スコープ  
1 & 2)。  
製品輸送、出張、通勤による  
排出量を削減(スコープ3)



#### SG10

エネルギー調達とグリーン・  
エネルギー導入により、2027  
年までに再生可能エネルギー  
使用率100%を達成





“

エネルギー消費が欠かせない世界において、  
STは省エネに向けた継続的な取り組みを  
実施しています。

### エネルギー消費量の削減

生産におけるエネルギー効率の改善や、設備、  
プロセス、建築設計の最適化など、**エネルギー消費削減に向けたプロジェクトを実施**

グリーン・ビルディング規制や採用可能なベス  
ト・プラクティスに基づき、新たに建築される  
すべての建物や製造拠点を**設計・評価**

あらゆる施設建設プロジェクトの設計・実施に  
おいて、**エネルギー効率を主要原則に**



#### SG11

2027年までに、年間  
エネルギー使用量を  
最高150GWhまで  
削減するプログラム  
を実施

2025



#### SG12

2025年までにウェハ  
当たりのエネルギー  
消費量を20%削減  
(2016年比)



“

STは、すべての拠点で水資源に関する  
環境課題に責任を持って取り組んでいます。



### 水使用量の削減と 地域的な水不足リスクへの対応

地域的な制約を考慮し、すべての製造拠点で  
水ストレス・レベルを評価

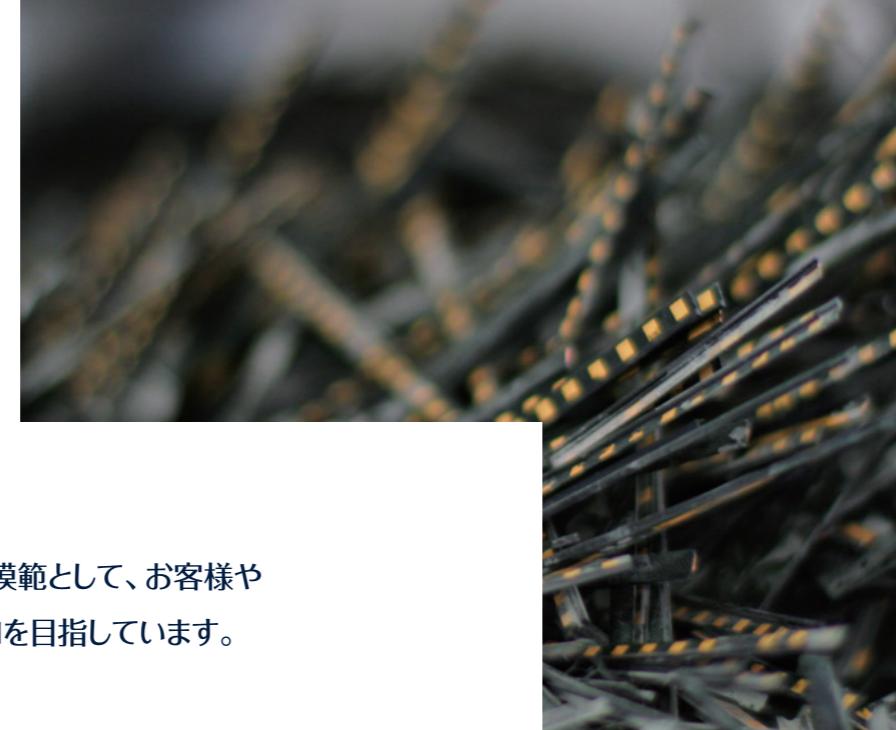
廃水に対し適切な処理を行うことで、  
環境保全に貢献

すべての事業活動において、**継続的に水利用  
効率を向上**

**SG13**  
2025年までに水利用  
効率を20%改善  
(2016年比)

**SG14**  
年間で最低50%の水  
をリサイクル





**“** STは、世界に変化をもたらす模範として、お客様やパートナーとともに廃棄物ゼロを目指しています。

### 廃棄物削減と循環型経済の促進

すべての事業活動において、不要な資源の消費を最小化するプログラムを実施

イノベーションを活用した代替品の利用や、循環型アプローチに基づく再利用により、法的要件を問わず**有害物質の埋立てゼロ**へ

事業活動によって生じる廃棄物の最少化・リサイクル、および循環型経済プログラムによる廃棄物の削減

**SG15**  
廃棄物の埋立て率  
年間3%以下

2025  
95%



**SG16**  
2025年までに、廃棄物  
の再利用 / リサイクル率  
95%を達成



“ STは、正しい行いをすることを重要視しています。  
STにおける意思決定は、企業文化である  
「Integrity(誠実さ)」に基づいています。

### 倫理的な働き方の実現

誠実さ、尊敬、説明責任を意思決定プロセスの中核に据え、STの行動規範と価値観「People(人々)、Integrity(誠実)、Excellence(卓越性)」を遵守

贈収賄や汚職を断固許容しない姿勢の徹底  
報復を恐れず、誰もが安心して声をあげることができる企業文化の推進

コンプライアンス、倫理、プライバシーに関するトレーニングや意識向上プログラムを積極的に企画・展開

ステークホルダーの個人情報収集・利用において、プライバシーに関する社会的責任を徹底

### SG17

全従業員に対するコンプライアンス・サポート・ラインの認知を実施  
(年次)



### SG18

全ての適用対象外従業員<sup>\*2</sup>に対し、STの行動規範と関連手続きの遵守に関する同意書に署名を徹底(年次)



“ STは、リスク管理をレジリエンスやアジリティ、成長のための機会と捉えています。リスクの特定や評価、およびリスク削減を事業活動に組み込むことで、体系的に実施しています。



### SG19

使用する全ての材料が有害物質プロセス・マネジメント(IECQ 080000)やRMI<sup>\*4</sup>といった責任ある調達イニシアティブなどの最高基準に準拠

### あらゆる事業活動におけるリスク管理

ロス・プリベンション・プログラム<sup>\*3</sup>における「高度に保護されたリスク(HPR)」および「適切に保護されたリスク(APR)」基準をすべての製造拠点で遵守

STの事業活動および広範なサプライチェーンにおいて、環境 / 健康 / 安全 / 倫理的リスクを体系的に評価・軽減・排除

新たな業務プロセスや化学品、材料が与える環境、健康、安全への影響を予防原則に基づいて評価

製造プロセスや製造活動における環境負荷物質やリスクの管理・削減・排除

### SG20

2025年までに、サプライチェーンのリスク評価および高リスクのサプライヤに対する監査を100%実施

2025



<sup>\*2</sup> - 通常、大学または大学院程度の教育修了を必要とする職に従事し、時間外労働手当の支給対象とならない従業員

<sup>\*3</sup> - Loss Prevention Program : 火災、関連する危険(煙、腐食、熱、水)およびその他のリスク(自然災害など)に対する適切なレベルの防護をSTの拠点に確保するプログラム。

<sup>\*4</sup> - RMI : Responsible Mineral Initiative は、サプライチェーンにおける責任ある鉱物調達の問題を取り組む様々な業界の企業にとって、最も活用され、評価の高いソースの1つです。

“

STは、お客様や投資家、パートナーの声に耳を傾けることで、その期待に応え、相互的な成功に向けて協力します。



### あらゆるステークホルダーと、ともに

**あらゆるステークホルダーを含めて、3年ごとに重要課題の全面的な見直しを実施**

**サプライヤや委託業者に対し、サステナビリティに関する研修やトレーニングを提供するとともに、ISO 14001、ISO 45001、ISO 50001の取得を要請**

**サプライア・サプライチェーンにおいてデューデリジェンスを実施することで、直接的 / 間接的な人権侵害に関わる原材料の調達を防止するとともに、環境への影響を最小化**

**低環境負荷の材料、ユーティリティ、商品、サービスを含むグリーン調達基準を展開**

**長期的なパートナーシップを確立することで、お客様のサステナビリティ要件に準拠**



“

STは、透明性と信頼を重視しています。継続的に追跡調査を行い、成功や課題を一貫してステークホルダーと共有しています。



### 進捗の追跡と報告

**主要拠点に対する定期的な監査を含め、進捗状況を継続的にモニタリングし、厳格な予防措置と是正措置によって継続的な改善を実施**

**すべての新規製造拠点に対し、操業開始後18ヶ月以内にISOおよびEMASに基づく認証および検証を実施**

**Responsible Business Alliance (RBA)のメンバーとして積極的に活動し、監査結果をお客様と共有**

**国際的に認められた報告基準に従い、STの課題、機会、進捗を高い透明性で報告する年次サステナビリティ・レポートを発行し、第三者機関による認証を実施**

**SG23**  
最も先進的な基準に従い、STの長期的目標に対する進捗を年次報告

**SG24**  
ISO14001、ISO45001、ISO14064、ISO50001の認証を全拠点で継続的に取得





ACCELERATING SUSTAINABILITY  
TOGETHER

